



赤ちゃんがいるご家庭では 当然たばこの煙に対しては御注意頂いてると思いますが

妊娠中に喫煙していた母親から生まれた子は、たばこを吸ったことがない女性の子と比べ、

出生時の体重が少ないことが環境省が発表した調査結果で分かったようです。

それぞれ 男児は平均136.4g、女児は同124.5g軽く、いずれも3000gを下回っていたようです。

調査は、2011年末までに生まれた全国の9369人の赤ちゃんを対象に実施されたようです。

喫煙経験のない母親から生まれた子の平均体重は男児が3096.2グラム、女児が3018.2グラムだったのに対し、たばこを吸い続けていた妊婦の子は男児2959.8グラム、女児2893.7グラムだったそうです。

明らかに違います！

軽い体重で生まれた場合、将来肥満になるリスクが高まるなど健康に影響する可能性がある

という指摘も！！

今妊娠されているかた 喫煙に 御注意ください！

